3000人の楽しい町

町報こうふ

KOFU

No.610

2022 1月

新年を鮮やかに彩る

動画で町報こうふ!

URL:https://www.youtube.com/user/townkofu

表紙のモデル
江府町観光大使「えびちゃん」（本名：古代地江美）

新年明けましておめでとうございます

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症に世界中が振り回された一年でした。一年延期されて行われたオリンピック、パラリンピックも、無観客開催となりました。江府町伝統の夏祭り江尾十七夜も2年連続中止となる中、観光協会、こだいぢ踊り保存会の皆さまにより、ユーチューブで全世界に発信することができました。

ワクチン接種が進んだことも、明るい兆しの一つです。5月から江尾診療所を会場に開始したワクチン接種は、町民の皆さまのご理解、ご協力により、大変円滑に行うことができました。2月からは3回目の接種も予定しております。引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、私は本年を江府町が大きく飛躍する年にしたいと考えています。4月には奥大山江府学園を開校し、小中一貫したふるさと教育を充実させます。佐川地区に移住定住促進住宅や商業施設の整備を進め、令和5年には入居ができるようにします。スキー場を休止している奥大山エリア周辺は、環境学習やエコツーリズム、企業研修等、自然環境の大切さを実践的に学習するための場となるよう具体的な施策を展開していきます。「水」のふるさと奥大山SDGs宣言を公表し、全国にアピールします。「命を守る端末」として機能を極端に制限したスマーフォンを、高齢者世帯を中心に普及させる取組みを進めます。これは、誰一人取り残さないデジタル社会の実現のための第一歩を踏み出すものです。役場においても、4月からは本格的なペーパーレス化を始め、生産性の向上につながる取り組みを加速します。そこで生み出された時間を、人でなくてはできない細やかな住民サービスに振り向けます。無駄を省き、不足を補うことにより、町のみなさんに信頼され、期待に応えられる存在になれるよう、役場職員全員で努力していきます。

最後に、年頭にあたりまして、皆さまのご健勝と幸多い年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年　元旦

江府町長　白石　祐治

ー特集ー

おいしい給食をいただきます

▲「いただきます」とあいさつする江府小学校１年生

学校給食は、子どもたちが学校で健康に生活できるようにするために、
日常生活で欠かすことのできない役割をもっている。
また、様々な人が関わりながら食生活を支えていることを、
知り、学び、経験することは、
「食」の大切さを理解することにつながっていく。

おいしい給食は、人生を豊かにする―。

今月号の特集は、「学校給食」について取り上げていきます。

日本の学校給食の歴史

月　日（　）日直

みなさんは「学校給食法」という法律をご存知ですか？

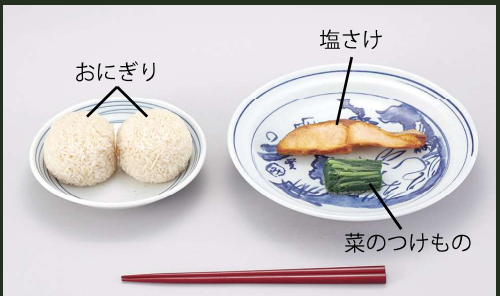
学校給食法は昭和２９年に公布・施行され、平成２０年６月に大幅に改正されました。改正によって学校給食の目標が７つとなり、学校給食は「教育の一環」として実施していくことが明確になりました。

食糧難の時代は不足する栄養素の補給に重点が置かれていましたが、現在は時代の変化に合わせて法律に定める目標が達成できるよう創意・工夫に努められています。

そして、時代の流れとともに、学校給食のスタイルも変わってきました。まずは、日本の学校給食の歴史について紹介します。

明治２２年
日本で最初の学校給食がはじまる

山形県鶴岡市の忠愛小学校で給食を実施。弁当を持ってくることができない児童のために給食を出したことがはじまりです。



▲明治２２年の給食

昭和１７年頃
戦争中の給食

戦争が長引くにつれて、食材が少なくなり、給食を中止する学校が増えました。中止していない学校でも、毎日ではなく、わずかなすいとんが出るぐらいでした。

▲昭和１７年の給食

昭和２２年
学校給食が再開　脱脂粉乳の登場

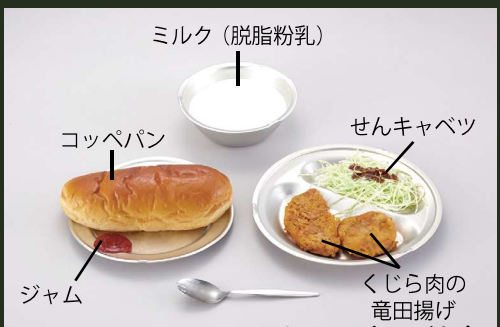
戦争が終わり、東京、神奈川、千葉で給食が再開。次第に全国で開始されるようになりました。また、脱脂粉乳が給食で使われるようになりました。

▲昭和２２年の給食

写真提供元：「独立行政法人日本スポーツ振興センター」

昭和２７年
給食の主食にパンがつく

小麦粉が安く手に入るようになり、パンが給食の主食となり、パン・ミルク・おかずがそろった完全給食が始まりました。くじら肉がよく使われていました。



▲昭和２７年の給食

昭和３８年頃
脱脂粉乳から牛乳へ

脱脂粉乳から、牛乳へとかわりました。

昭和５１年
ごはんのはじまり

学校給食で「米飯」が登場。これによって、カレーライスなどのメニューも新たに登場し、コッペパン時代と比べメニューが増えていきました。

△昭和５１年の給食の様子

昭和６０年
各国の料理のはじまり

日本の料理だけでなく、ビビンバ、キムチ風つけものといった韓国料理など、多国籍料理のメニューも新しく加わっていきました。

▲昭和 60 年の給食

平成１５年
食育メニューの推進

「食育基本法」という法律によって、学校と地域が連携して食育に取り組むようになりました。地産地消を意識したメニューが取り入れられました。

▲平成 15 年の給食

では、気になる現在の給食はどんな感じでしょうか？
次のページでは町の給食ができあがるまでの過程とあわせて、ご紹介します。

▲江府町立給食センター

給食の裏舞台をのぞいてみよう！

▲給食センターのみなさん

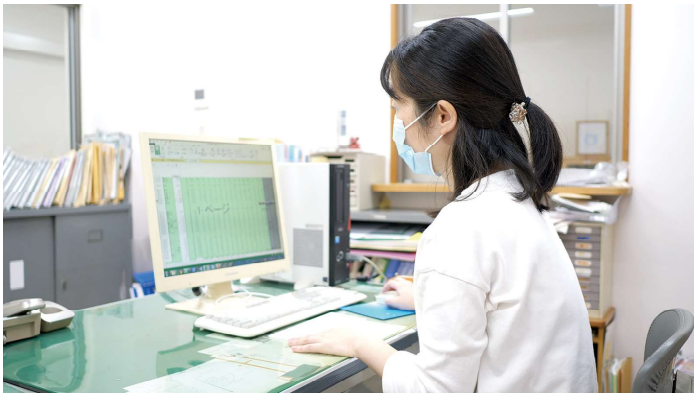
児童・生徒が食べている学校給食は、一体どういう風に作られているのでしょうか。

安心・安全でおいしい給食が作られるためには、日々厳しい品質管理のもと、様々な工程を経ています。

ここでは、給食ができるまでの舞台裏をご紹介します。

①献立を決める

献立を決める時は、栄養バランスだけでなく、調理時間も考えています。また、旬の食べ物や地元の食材を取り入れるようにしています。他にも原材料やアレルギー、給食費の範囲で買えるものなど、様々なことを気にかけながら献立を決めています。


▲献立を決める様子

②食材をうけとる

食材の重さや産地、品質や温度などを確認しながら記録します。食材は町内の業者などから仕入れています。

【野菜】みちくさ

【梨】奥大山農業公社

【ジビエ肉】奥大山地美恵

【みそ】農事組合法人宮市

▲食材を受け取る様子

＼地産地消／

③調理と配送

お米は計量し、研いでいきます。炊飯器に入れる直前にかきまぜることで、むらなく炊けます。かきまぜたら炊飯器に入れます。

野菜はたくさん使うため「押し切り機」という機械を使って切ります。刃が欠けていないか切る前と後でチェックをします。

▲お米を炊く様子

▲みそ汁の温度を計る様子

みそ汁を作るときには、にぼしでだしをとり、具材を入れていきます。火が通ったらみそを入れます。出来上がったら「中心温度計」で８５℃以上になったか確認します。

フライなどの揚げ物も、中心温度計を使ってきちんと加熱されているか確認し、各クラスの食缶に一つひとつ数をかぞえて入れていきます。

そして

▲食缶をコンテナに入れます

▲配送車で各学校へ出発

▲安全な給食か検食して確認

④食器を洗う

学校からコンテナが戻ってきたら、食缶や食器を取り出して洗います。また、配送用のコンテナは中だけでなく、タイヤも洗います。

食器は一枚一枚手洗いをした上で、洗浄機にかけます。お箸も全部の数を数えてから洗浄機にかけます。

最後に食器がきちんときれいになったか一つずつ確認をし、数をわけて明日の準備をします。

▲食器やコンテナを洗う様子

恵みに感謝し、いただきます

▲令和３年１２月１日に開催した「学校給食試食会」の様子

■学校給食試食会

江府町民を対象とした「学校給食試食会」を令和３年12月１日（水）、江府町役場２階多目的室で開催しました。

「江府町学校運営協議会」と「江府町立学校給食センター」の共催企画で、昨年度に続き２回目の開催。学校給食を通じた地域連携を目的として、実際に学校給食で提供されているメニューの試食が行われました。

参加者は、順番に並んで給食を受け取ると、富田敦司教育長の「いただきます」の発声とともに試食を行いました。地元の食材を使った給食に、参加者のみなさんからは笑顔があふれていました。

参加者のみなさんが試食をされている間には、江府町学校運営協議会から各学校での活動の報告が行われたほか、江府小学校福井千穂栄養教諭から学校給食について説明もありました。また、給食センターの舞台裏をまとめた動画も視聴されました。

試食会の最後には、学校給食に食材などを提供されている地元生産者のみなさんから感想が述べられました。

▲給食を配膳する様子

▲「はい、あーん」おいしいね♪

＼学校給食試食会のメニューをご紹介／

牛乳

大根サラダ
（大根は奥大山大根&カブクラブ提供）

ジビエのスタミナ納豆
（ジビエ肉は奥大山地美恵提供）
（みそは農事組合法人宮市提供）

ごはん
（江府町産コシヒカリ）

ほうれん草と卵のスープ
（野菜の一部はみちくさ提供）

▲学校運営協議会から活動報告

▲栄養教諭から給食について説明

▲感想を述べる生産者の様子

■栄養教諭の想い

学校給食は給食を「生きた教材」としてさまざまな食に関する学びを深めるなど、「食育」の推進に努める役割もあります。バランスのよい給食を食べて健康な体をつくるだけでなく、給食が大人になってからの食生活の参考になるものとなり、生涯にわたって健康な生活を送るための生きた教材となるように、学校給食の充実を図っていきたいと思います。

昨年1月24日から30日までの全国学校給食週間に合わせて、小学校4年生から中学校3年生までのみなさんに「ふるさとの食べ物を使ったメニュー」を考えてもらいました。そのうちいくつかの献立は、今年1月の学校給食に登場します。

このような取り組みを通じ、ふるさとの恵みを味わう中で、江府町や鳥取県の良さについて考えてもらえると嬉しいです。

江府小学校
（江府町立学校給食センター）
福井　千穂
栄養教諭

「いつまでも、お元気で」～赤十字奉仕団地域福祉活動～

11/19

江府町赤十字奉仕団が１１月１９日（金）、町内にお住いの８０歳以上のひとり暮らしの方を慰問し、手作りの慰問品を渡しました。今年は「マフラー」を製作し訪問。各集落担当の団員がそれぞれ１００名の方にお渡ししました。

江府町赤十字奉仕団団員募集！！（男性の方も大歓迎！）
奉仕団では、一緒に活動していただける団員を募集しています。無理のない範囲で一緒に活動してみませんか。興味のある方、ぜひ事務局にお電話ください。
【問い合わせ】役場福祉保健課 電話:0859-75-6111

▲慰問品の「マフラー」を準備する様子

11/22 地域とのふれあいを大切に、花を寄贈 ～江府小学校～

▲「ふれあいの花」を前に記念撮影

江府小学校の児童７名が１１月２２日（月）、江府町役場へ「ふれあいの花」を寄贈しました。江府小学校では、環境教育の一環として、学校お助け隊のみなさんとともにパンジーを植え、町の公的機関などに寄贈しています。児童を代表し、６年生の篠田篤敬さんが「地域とのふれあいと感謝の気持ちを込めて植えました。大切に育ててください。」と伝えると、白石町長は「ありがとうございます。大切に育てます。」と感謝の気持ちを述べました。

何度聞いても大丈夫！臨時スマホ教室開催

11/25・12/15

ソフトバンク株式会社のスマートフォンアドバイザーによる「臨時スマホ教室」が１１月２５日（木）と１２月１５日（水）、江府町役場で開催されました。町民を対象として期間限定で開催され、「スマートフォンでの電話のかけかた」から「ＬＩＮＥ（ライン）によるメッセージの送り方」まで、講師が参加者の質問に丁寧に応えながら説明をしていきました。参加者からは「分からないことが何度も聞けてよかった。スマホに、より関心がもてました」と安心した声が聞かれました。

▲スマートフォンの使い方を学ぶ様子

11/27 伝統の「下蚊屋荒神神楽」を体験 ～江府小学校土曜学習～

▲神楽を鑑賞する児童の様子

令和３年度第２回土曜学習（下蚊屋荒神神楽体験）が１１月２７日（土）、江府小学校で行われました。児童ははじめに、江府町の伝統文化である「下蚊屋荒神神楽」を鑑賞。初めて鑑賞した児童も多く、迫力の演舞に魅了されていました。その後、４つの色別縦割班に分かれ衣装・面体験、太鼓・道具体験、幣（ぬさ）づくり体験、舞体験を行いました。児童は下蚊屋荒神神楽保存会のメンバーの方から指導を受けながら、郷土の伝統文化を体験し、ふるさとの素晴らしさをたっぷりと味わいました。

11/27 柳家権之助さんによる「第一回うみ落語やま落語」を開催

▲余芸を披露する柳家さん（写真左奥）

「第１回うみ落語やま落語柳家権之助独演会」が１１月２７日（土）、江府町役場２階多目的室で行われました。このイベントは境港市で「生で落語が聞ける」楽しみの創出のために企画され、イベントの主催者とNPO法人「こうふのたより」の共催により、今回江府町で初めて開催されました。当日は落語家の「柳家権之助」さんが落語を２席披露されたほか、余芸としてギターを使った歌の披露や、オリジナルグッズが当たるじゃんけん大会なども行われました。

奥大山スキー場雪崩事故慰霊献花式 12/7

「奥大山スキー場雪崩事故慰霊献花式」を１２月７日（火）、奥大山スキー場で執り行いました。町、町議会等の関係者が出席。出席者は平成２２年１２月３１日に発生した雪崩事故により亡くなられた４名の方々へ黙とうをささげると、慰霊碑へ白い菊の花を手向けました。白石町長は「１１年の歳月が経ちましたが、改めてお亡くなりになられたみなさんのご冥福をお祈りいたします。慰霊はこれからも続け、事故が二度と起きないように努めていきます」と決意を述べました。

▲慰霊碑へ献花する関係者の様子

12/8 人権作文表彰で吉田紗彩さん（江府中学校１年）が会長賞を受賞

▲写真左から小林憲充会長、吉田紗彩さん、三代信行委員、清水礼子委員

「令和３年度全国中学生人権作文コンテスト西部地区大会」が行われ、江府中学校１年の吉田紗彩さんが、米子人権擁護委員協議会長賞を受賞しました。江府中学校で１２月８日（水）に行われた表彰式には、米子人権擁護委員協議会の小林憲充会長をはじめ、江府町人権擁護委員の清水礼子さん、三代信行さんも出席され、和やかな雰囲気の中で表彰が行われました。吉田さんは、自分の経験を基にして友達との関わりについて考え、「つらいとき相談できる存在に私はなりたい」という思いをつづっていました。

第１回あなたとわたしの「認知症とともに生きる江府町講座」開催 12/9

「認知症とともに生きる江府町講座」が１２月９日（木）、江府町役場本庁舎で開催され、町民や介護事業所職員、町職員ら計２７名の参加がありました。第１回は介護者・参加者交流会として、認知症の人と家族の会代表吉野立さんや、介護経験者で町内在住の筒井豊子さん、阿部壽満子さんのお話を聴きました。参加者からは、「家族が介護の最前線に立たず関わってもらえる人をたくさん持つことが大事と聞いて少し気持ちが楽になった」、「相談することの大切さを感じた」という感想がありました。

▲人生100年時代を元気に生きるヒントの話もありました。

江府町スマホ普及推進アドバイザーに中岡さんが就任

12/14

「江府町スマホ普及推進アドバイザー委嘱交付式」が１２月１４日（火）、江府町役場町長室で行われラジオパーソナリティの中岡みずえさんが就任されました。町では昨年１０月にソフトバンク株式会社と「DX推進による住民生活向上を目指す連携協定」を締結し、この協定に基づき、中岡さんが出演する江府町独自仕様のスマートフォン「命を守る端末」の紹介動画の撮影が行われました。動画は町公式ユーチューブチャンネルで見ることができますので、ぜひご覧ください。

▲委嘱を受ける中岡さん（写真右）

12/14

コロナに負けるな！町民の安全安心の守り「奥大山蕎麦」で感謝と激励

▲写真左から竹内敏朗会長、加藤正人さん、武地幹夫所長、見山收副会長、生田人美さん

町民の健康と安全・安心に携わる江尾診療所と福祉保健課に対し、農業団体「ちいさな農園奥大山」（竹内敏朗代表）が１２月１４日（火）、感謝を込めて地元奥大山江府町産のそばを贈呈しました。同団体の見山收副会長が「地元産のそばを食べて３回目のワクチン接種や今後の活動に頑張っていただきたい」と激励すると、江尾診療所長兼総合健康福祉センター長の武地幹夫医師は「おいしい奥大山そばを食べ、良い年越しをして引き続き頑張ります」と感謝を述べました。

２年ぶりの「星ふる 雪ふる はあとふるコンサート」

12/18

「星ふる 雪ふる はあとふるコンサート」が１２月１８日（土）、江府町役場２階多目的室で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年のコンサートは中止になり、なかなか集まって練習する事がままならない日々も続きましたが、今年は２年ぶりに実施。アイリス合唱団による合唱に加え、江府町出身で現在日野町在住の長尾光貴さんによるオカリナの演奏や、地元小・中学生によるストリートダンスの発表も行われ、大いに会場は盛り上がりました。

▲クリスマス衣装で歌うアイリス合唱団

12/22

令和３年度子供の国保育園おたのしみ会

▲年長児 劇「かさじぞう」

「令和３年度子供の国保育園おたのしみ会」を１２月２２日（水）、子供の国保育園で開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は各組ごとに保護者の入れ替えを行いながら実施しました。あひる組園児、りす組園児、年少児によるダンス、年中児による舞踏劇、年長児による劇などのプログラムが行われ、園児のみなさんは日頃の練習の成果を披露しました。最後は年長児が合奏「ピクニック」とハンドベル「きよしこの夜」を、息を合わせて演奏しました。

今年も奥大山プレミアム特別栽培米研究会の受賞相次ぐ！

▲町長室で記念撮影
（写真左から遠藤会長、白石町長、越峠さん、田中さん）

奥大山プレミアム特別栽培米研究会（遠藤功会長：会員数２０名）の各種コンクールの受賞報告会を１２月２１日（火）、江府町役場本庁舎町長室で行いました。

新型コロナウイルスの蔓延により、山形県庄内町のコンテスト以外は無観客開催でしたが、下記の３大会で最終審査にノミネートされ優秀な成績を収めることができました。

近年は、きぬむすめでの受賞が続いていましたが、コシヒカリ、きぬむすめ、星空舞の三品種全てで賞をとることができました。

研究会のお米は、日本一の米作り名人として有名な山形県の遠藤五一氏の指導のもと、除草剤の使用を基準の半分以下に減らすなどの厳しい栽培基準に基づいて作られています。さらには独自の品質基準を満たしたものだけを「奥大山江府米」のブランド名で首都圏を中心に販売していますが、西日本でも有数の良質米と高い評価をいただいています。また、今年からはふるさと納税の返礼品としても採用されています。

報告会には越峠嘉道さん（下蚊屋）と田中明男さん（柿原）の２名が賞状と記念品を持参。白石町長に１年間の成果を報告するとともに、来年に向けての意気込みを語られました。

＜受賞者のコメント＞
【越峠嘉道さん】
研究会発足から９年が経過し、西日本を代表するブランド米産地として認められるようになりました。これからも、みなさんに「奥大山江府米が食べたい」と言ってもらえるよう頑張ります。
【田中明男さん】
研究会に入って３年目ですが、みなさんのご指導のおかげで賞をいただくことができました。来年はさらに上を目指して頑張りたいと思います。
＜遠藤会長のコメント＞
米価の大幅な下落は農家にとって大変厳しい状況ですが、研究会で栽培する奥大山江府米は高い評価をいただいており有利販売につながっています。新規入会者の募集も行っておりますので、皆さんご参加ください。

大会名	開催日	開催地	受賞者	品種	賞名	出品総数
第 23 回 米・食味分析鑑定 コンクール国際大会	11/27	静岡県 小山町	田中明男	きぬむすめ	環境王国部門 特別優秀賞	5,141 点
第 15 回 あなたが選ぶ日本一 おいしい米コンテスト in 庄内	11/27	山形県 庄内町	越峠嘉道	コシヒカリ	メジャー部門 優良金賞 （上位 12 点）	500 点
第 18 回 お米日本一コンテスト in しずおか	12/3.4	静岡県	田中明男	きぬむすめ	金賞（上位 12 点）	439 点
			加藤誉正	星空舞	入賞（上位 75 点）	

「奥大山江府米」を一緒に作りませんか！
奥大山プレミアム特別栽培米研究会会員募集！！

奥大山プレミアム特別栽培米研究会では、令和４年産にむけ会員募集を行います。希望者を対象に説明会を開催しますので、興味をお持ちの方は下記によりお申し込みください。（※説明会終了後に最終的な入会のとりまとめをします）

【申込方法】江府町役場産業建設課（※電話：0859-75-6610に電話でお申し込みください）
（※住所、氏名、電話番号を報告ください）

【申込締切】令和４年１月２４日（月）

【説明会開催予定】令和４年1月末（※申込者に別途ご案内いたします）

ほけレポ

保健レポート vol.22
～“まめ”にいかいや！江府町～

・まめ＝元気という意味。
・保健師、栄養士、健康運動指導士が毎月、いのちと健康を守るための情報をお届けします。

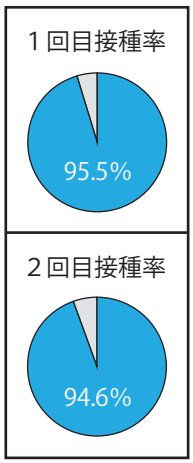
こんにちは。今月の「ほけレポ」のテーマは、**「新型コロナウイルスワクチン3回目接種について（第1弾）」**です。

江府町の現時点での新型コロナワクチン接種状況や、3回目接種の予定、そして、みなさんが気になる3回目接種あれこれについて、担当者（担）と江尾診療所武地医師（武）にインタビューしました。

1・2回目ワクチン接種状況

●現在の江府町の1・2回目接種率はいかがですか。

担「江府町の1回目の接種率は95.5%、2回目は94.6%です。（令和3年12月13日時点）」



江府町の3回目ワクチン接種予定（令和3年12月16日現在）

担「江府町の3回目接種は、2月下旬から開始する予定です。2回目接種後から8か月たった18歳以上の方が対象です。以前と同様、集落ごとに日時を指定してご案内し、各集落に送迎バスを出す予定です。接種券の送付は、詳細は決まっておりませんが、1月下旬以降を予定しています。江府町の集団接種会場以外での接種を予定されている方で、接種券が早く必要な方は、福祉保健課までご連絡ください。」

▲1、2回目新型コロナワクチン集団接種の様子

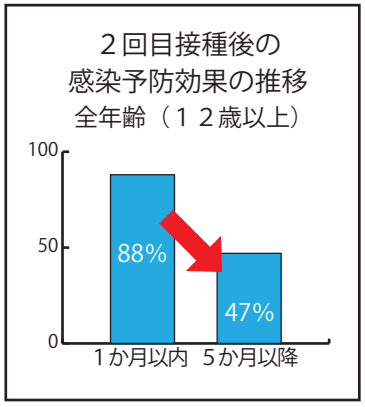
インフルエンザワクチンは令和4年1月末までに接種を！

担「現在、江尾診療所をはじめ、県内各地で季節性インフルエンザのワクチン接種が始まっています。町から青い封筒に入った接種券が送られてきた方は、接種期間の1月末までに接種を受けて下さい。また、3回目の新型コロナワクチン接種とその他のワクチンは、2週間の接種間隔をあける必要があります。3回目のコロナワクチン接種に備えて、1月末までにはインフルエンザワクチンの接種を終えることをおすすめします。」

3回目接種あれこれ

●3回目接種について、先生はどのようにお考えですか

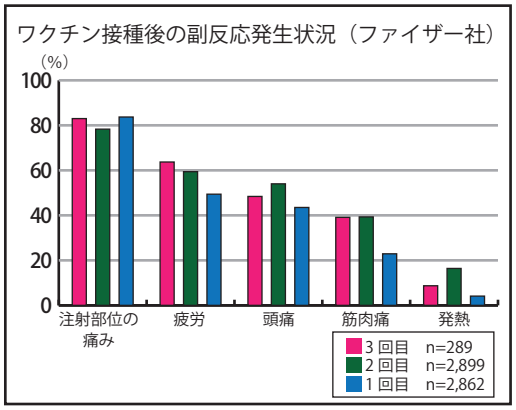
武「2回接種を終えた方でも、その5～6か月後には、感染予防効果が下がり、新型コロナウイルスに感染しうることが明らかになっています（左図）。また、3回目接種は、変異株オミクロン対策にも有効ということがわかっており、接種されることをお勧めします。」



「第25回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（令和3年10月28日）資料」から引用作成

●3回目接種ほど副反応が起こりやすいのでは、と心配の声がきかれますが、先生のご意見をお聞かせください。

武「3回目接種の副反応として、疲労感が少し多い傾向にある以外は、発熱、頭痛等、2回目接種のときよりも低くでることがわかっています（左図）。アナフィラキシーショックも同様です。安心して、3回目接種を受けていただきたいと思います。」



「新型コロナワクチンの接種について 第26回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料2（令和3年11月15日）」から引用作成

次回、ほけレポ2月号では、第2弾として更に詳しい江府町の3回目接種スケジュールをお伝えします。

【問い合わせ】
江府町役場福祉保健課
電話：0859-75-6111

白石町長コラム Vol.65

「不易流行」

～よき伝統を守りながら（不易）
進歩に目を閉ざさないこと（流行）によって
「理想」を創造する～

これまでのコラムはこちら!
これまでのコラムはQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

「水」のふるさと奥大山の使命

昨年11月21日に休暇村奥大山で開催した「富良野自然塾ｉｎ奥大山」は大きな反響を呼びました。複数の新聞社、テレビ局にも取材され、奥大山エリアが子どもたちの環境教育、企業向けのＳＤＧｓ研修の場として素晴らしい環境であることが伝えられました。そして、それにより脚本家の倉本聰さんが主催する「ＮＰＯ法人富良野自然塾」の知名度や、環境プログラムの素晴らしさを改めて実感することができました。

そもそもこのプロジェクトは、富良野自然塾副塾長の林原博光さんのお母さんが江府町のご出身だったことがきっかけで、一昨年の秋に職員を富良野に出張させたことから始まります。このような展開になったのは、どこか運命的なものを感じます。地球温暖化防止を始め環境に対する関心が高まっている現代において、奥大山の豊かな自然、水の恵みを受けている江府町が、将来にわたってこの自然や水を守り続けていくことは、この地域が担うべき大きな使命だと思います。そして、そのことを世の中に広く伝えていくため、現在、町では「水」のふるさと奥大山ＳＤＧｓ宣言を公表する準備をしています。これを契機に、今まで身近で当たり前だった自然や水を再評価し、大切に守っていく取り組みを、地域が一体となって実行に移そうではありませんか。

▲挨拶を述べる林原副塾長

誰でも見れるライブ配信企画「町長オンライン座談会 Vol.8」を配信します！！

町では今年度、ユーチューブを活用したライブ配信「町長オンライン座談会」を実施しておりますが、新たなテーマのもと第８回目の開催が決まりました。インターネットが利用できるスマートフォンやタブレット、パソコンなどから、誰でも、どこでも視聴することができます。また、配信後はアーカイブで再配信も行います。ぜひご視聴ください。

【第８回座談会テーマ「ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）って、どげな？」】

配信予定日　１月２３日（日）１０：００～１１：００（予定）
出演者　白石町長、江府町スマホ普及推進アドバイザー中岡みずえさん（ラジオパーソナリティ）、江府町 ICT 推進アドバイザー高際均さん（ソフトバンク株式会社）、役場総務課 主任 梅林 徹（司会）

インターネットが利用できるスマートフォンやタブレット、パソコンから、江府町公式ユーチューブチャンネルにアクセスし、「町長オンライン座談会」ライブ配信を、配信予定日当日にご視聴ください。また、町ホームページ専用ページからもアクセスすることができます。詳しくは右下のＱＲコードからアクセスしてください。

【視聴にかかる費用】
無料（※ただし、通信料は回線ごとの負担となります）

ホームページはこちらの QR コードからアクセスできます。

第８回目以降の座談会について

テーマや配信予定日は未定ですが、現在町が抱える課題などについて、専門的なゲストスピーカーとのトークセッションを随時配信していく予定です。（※開催が決まり次第、町ホームページ専用ページでご案内します）

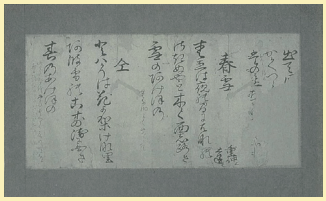
【「町長オンライン座談会」の問い合わせ】江府町役場総務課　電話：０８５９－７５－２２１１

町内の文化財のご紹介

町の文化財に指定されている「下原重仲の詠草」を紹介します。下原重仲は、江戸時代の鉄山師で、「鉄山秘書」の著者です。「鉄山秘書」とは鉄山経営について書かれた書物であり、日本採鉱冶金史上の最も優れた古典の一つとされています。今回紹介する詠草は昭和9年に発見されたもので、和歌の格調、筆跡からして、しかるべき人に師事して文筆をよくしたものと言われています。

また、昨年11月には、「下原重仲恭敬ツアー&フォーラム」が開催され、研究発表等が行われました。下原重仲については、まだ謎が多く今後もさらなる研究が必要です。

町内の皆さまから広く情報提供を募りますので、下原重仲について情報をお持ちの方はお気軽に江府町教育委員会事務局（電話：0859-75-2223）までご連絡ください。



▲下原重仲の詠草
登録日
昭和52年12月15日

子ども会活動を応援します
江府町ジュニアリーダー育成事業補助金

町では、地域の子ども会が中心となり、世代間交流や団体相互の連携・交流を通じて、青少年の健全育成と“ふるさと”を愛する心を育くみ、まちづくりへの意欲向上を図る活動を応援します。

【補助金の主な内容】

▶事業主体　地域の子ども会など

▶対象事業　以下のいずれかに該当する事業

①新たに実施する事業、②地域内の異世代の交流事業、③他地域の子ども会と連携して行う交流事業、④青少年活動の振興に関する事業

▶補助金額　事業費の1/2（上限10,000円以内）

「どういう行事が該当するの？」、「どんな人が対象？」など、まずは江府町教育委員会事務局教育課へご相談ください。より良い事業とするために一緒に考えていきましょう！！

【問い合わせ先】江府町教育委員会事務局教育課　電話：０８５９－７５－２００５

日野高ニュース

日野郡の最高学府として、地域と連携・協働した教育活動を推進する「日野高校」。町では日野高校魅力向上推進協議会の一員として、「日野高校」の地域活動の取り組みを「日野高ニュース」として紹介していきます。

11/13 日野高ショップ開催！

今年度、日野高ショップは８月が新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、結果として７月に続き二回目の日野高ショップを開催しました。パンジー、ビオラ、チンゲン菜、ターサイ、味噌、トマトケチャップ、ブルーベリージャム、なしジャム、課題研究レシピ開発商品などを販売しました。生徒にとって、お客様に商品を直接お届けする貴重な経験となりました。ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

▲日野高ショップの様子

トム先生の「TOM'S TOPIC」16

トム先生の動画はこちらから

Father Christmas

The first known English figure of Christmas was associated with merry-making, singing and drinking and can be traced back to the 15th century. He was most often portrayed as an elderly man with a beard.
He remained popular until the 18th century, when interest Christmas began to decline. During the Victorian period Christmas customs enjoyed a significant revival, including the figure of Father Christmas himself as the emblem of 'good cheer'. This was in no large part due to the popularity of Charles Dickens's 1843 novel A Christmas Carol which has been credited both with reviving interest in Christmas in England and with shaping the themes attached to it, such as the eating of poultry, the now defunct tradition of telling ghost stories on Christmas Eve itself, and Christmas caroling itself.
Also, until the end of the 19th century, Father Christmas was largely associated with drinking and eating, not with giving presents to children.
From the 1930' s onwards, Father Christmas began to take on the more standardized attributes of the American "Santa Claus" .
Today the terms "Father Christmas" and "Santa Claus" are used mostly interchangeably, and like many festivals, Christmas has become somewhat homogenized, although some local tradition still persist. For example, in the UK people still put a silver coin in the Christmas pudding and whoever receives a slice with the coin is said to have good luck for the coming year.

ファーザー・クリスマス

イギリスのクリスマスに関わる人物で最初に歴史に登場するのは、お祭りの騒ぎ、歌、酒に関連したもので、１５世紀にまでさかのぼることができます。イギリスで「ファーザー・クリスマス」といわれるこの人物は、ひげを生やした老人の姿で描かれました。

ファーザー・クリスマスは１８世紀まで人気がありましたが、その後、人々のクリスマスへの関心は薄れていきました。しかし、１９世紀のヴィクトリア朝時代になると、クリスマスの風習が復活し、ファーザー・クリスマスが「陽気さ」の象徴として描かれるようになりました。これは、チャールズ・ディケンズが１８４３年に発表した小説「クリスマス・キャロル」の影響が大きいと思われます。ディケンズは、イギリスでクリスマスへの関心を復活させただけでなく、鶏肉を食べること、クリスマスイブに幽霊話をするという今では廃れてしまった習慣、クリスマスキャロリングそのものなど、クリスマスにまつわるテーマを形成したと言われています。

また、１９世紀末まで、ファーザー・クリスマスといえば、子供たちにプレゼントを渡すのではなく、飲んだり食べたりするイメージが強かったようです。

１９３０年代以降、ファーザー・クリスマスは、アメリカの「サンタクロース」に近いものになりました。今日では、イギリスで「ファーザー・クリスマス」と「サンタクロース」はほとんど同じ意味で使われており、多くのフェスティバルと同様に、クリスマスもやや均質化されていますが、地域の伝統もまだ残っています。例えば、イギリスでは今でもクリスマスプディングの中に銀貨を入れ、そのコインと一緒に一切れもらった人は、その年の幸運を手にすることができると言われています。

江府町
地域おこし協力隊
通信

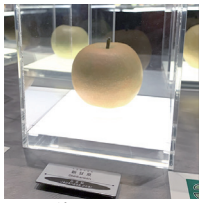
今月号は９名の江府町地域おこし協力隊員のうち、５名の隊員の活動を紹介します。本格的な冬が到来し、はじめての江府町での冬の生活にも挑戦中。気になるところ、ぜひご覧ください。

今月号のテーマ
「新たな年を迎えて」

新甘泉（梨）マネージャー（活動内容:新甘泉の栽培技術の習得、梨園の管理など）

ふくしま すぐる
福島 優

この原稿が掲載されるのは２０２２年でしょうか、あけましておめでとうございます。梨の収穫、稲刈り、そば刈りと慌ただしく２０２１年後半が過ぎて、気付けば年末。梨園では片付けと冬支度、そして、来年に向けての作業を行っています。雪の積もらない土地から来た身としては、これからの寒さと積雪に戦々恐々ですが、冬を乗り切って２０２２年も頑張りたいと思います。



▲研修で梨について学びました

奥大山ブランド推進コーディネーター（活動内容：奥大山ブランド商品の発掘、開発支援など）

やまだ あさひ
山田 朝陽

奥大山ブランドの送料無料キャンペーンの利用者も着実に増えていき、徐々にですが奥大山ブランドの認知を得ている気がします。また、自分が主体で動くことや大きな会議で様々な人と話すことなど、ちょっとした些細な経験でもとても充実しています。来年はさらに奥大山ブランドとして何か大きな実績を得たいです。

▲奥大山ブランドのホームページも立ち上げました

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）

あんどう のぞみ
安藤 希

最近は、おはなし会の準備で初めてペープサート（紙の人形劇）の企画・作成、ぬいぐるみお泊り会といったイベントの実施、そして研修会への参加と慌ただしい日々を送っていました。これらの経験と知識を自己の学びとし、今後の自分の成長に役立て、企画する上での参考にしたいです。

▲ぬいぐるみお泊り会の様子

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）

あおやぎ ひろと
青柳 仁人

司書資格のテキストを参考に、中学校図書館の本棚を並び替えています。なかには背ラベル（写真）の文字が消えたり、コンピュータのデータと異なる場合があります。小さな図書館ですが、７，０００冊を超える蔵書数です。異なるデータの背ラベルの本があると発見するのが困難になるので、その都度張り替えています。

▲本の背ラベル

ジビエ活用コーディネーター（活動内容：獣肉の解体処理技術の継承、商品開発など）

みむら あすみ
三村 明日海

江府町もすっかり冬になりました。１２月は直販会があり、多くの地元の方にお買い上げいただきました。準備として３００パックを１日で生産するのは大変でしたが、地美恵のお肉を求める人がそれだけいるのかと思うと、解体処理や衛生管理への意欲が一層高まりました。今後も町内外を問わず、皆さまに安全で美味しいジビエを提供していきたいです。

▲準備したジビエ肉

令和三年度意見書を提出

▲意見書の手交式
（写真左から末次課長・白石町長・加藤会長・松原職務代理・宇田川推進委員長）

江府町農業委員会は１２月１４日（火）、「令和三年度江府町農業施策等に関する意見書」を白石町長に提出しました。意見書の詳細は、回答書と併せてお知らせします。

〈意見内容の項目（概要）〉

①令和３年産米価下落に対する経営支援について
- 備蓄米の柔軟な運用等による価格下落に歯止めを
- 江府米のブランド力の確立と販売活動の更なる強化を

②集落地域営農の推進
- 組織組成の推進力となるような多面的支援策を

③奥大山農業公社の事業と展開方向
- 収穫時の受委託事業の整合性を
- 米価が持ち直すまでの委託料の時限的引き下げを
- 堆肥センターの耕畜連携事業の継続拡大を
- 新甘泉の梨団地造成と特産品としての普及支援を
- 若年職員の採用・育成による体制面の強化を
- 農業生産を一元管理する指導管理事業体制を
- 農商工連携による６次産業化の推進と一元的有利販売機能を

農業委員会委員の異動について

▲高津孝司さん（御机）

前農業委員の中田泰さん（御机）の退任に伴い、新たな委員に高津孝司さん（御机）が任命されました。

令和３年１２月１４日の議会で任命に係る同意が得られ辞令が交付されました。大字御机・大字美用を担当されます。

任期は令和５年７月１９日までです。

〈退任された中田泰さん〉

平成２６年の就任以来、農地の利用集積事業の調整をはじめ農事組合法人御机の設立にも尽力いただきました。

７年３ヵ月間、ありがとうございました。

町長との意見交換会

江府町の農業施策等について、江府町農業委員会は１２月１４日（火）、白石町長と意見交換を行いました。

「令和３年産米価の大幅下落」では、農事組合法人をはじめ稲作農家が収入減により大打撃を受けている現状や来年以降の生産農家の減少を危惧する意見が多くありました。

「集落地域営農の推進」では、「地域の農地は地域で守る」組織づくりが肝要であり地域の農家等の皆さんとの話し合いを農業委員会・担当課と協力して促進していくことを申し合せました。

「奥大山農業公社」では、米価が持ち直すまでの時限的な委託料の引き下げを提案しました。また、「将来的には常勤代表理事制による体制強化により、農商工連携による６次産業化と農産物の奥大山ブランドの確立に向け地域活性化を図っては」などの意見を交換しました。

１月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎ 相談日　令和4年1月20日（木）午後1時30分から3時30分
◎ 場　所　江府町役場本庁舎1階相談室
※マスク着用でお越しください。
※事前に相談内容をお知らせください。
（相談が円滑・詳細に行えます）

農業委員会総会のご報告
＜令和3年12月14日（火）開催＞

以下の審議案件はすべて承認されました。

農用地利用集積計画（案）について	47件
農用地利用配分計画（案）について	5件
農地転用事業計画変更申請について	1件
委員議席の決定について	1件

【問い合わせ】江府町農業委員会事務局　電話：０８５９－７５－６６２０

６５歳以上の方のスマホ取得費用とスマホ利用者みなさんの利用方法を支援します！

▲「命を守る端末」

目　的

デジタル化社会において誰一人取り残さない町を実現するため、人口減少の中で生じる課題の解決と生活の利便性向上につながる**スマートフォンの取得費用と月額使用料から購入後の利用方法まで、一貫して支援します。**

対象者

（１）町内に住所を有し、購入時点でスマートフォンを所有しておらず、６５歳以上である方
（各世帯１名まで補助対象）
（２）非営利かつ自ら使用する目的で端末購入される方
（３）町税等滞納がない方
（４）今後町が配信するコンテンツを活用していただける方

補助条件

（１）補助対象経費：**初期契約に係る経費と月額使用料最大２４カ月**
（※ただし、あらかじめ町がソフトバンク（株）と設定を行った指定端末「命を守る端末」に限る）
（２）補助率：**１０／１０（※単年度上限５万２千円。１千円未満は切り捨て。）**
（３）対象：令和４年３月３１日までに契約された端末
※「命を守る端末」が利用圏外の場合、他のスマートフォンも可。
※他のスマートフォンから「命を守る端末」に乗り換える場合は、上限５千円の補助。

補助までの流れ

①江府町役場に開設される臨時ショップにおいて、端末の契約を行う。
②申請書、必要書類（領収書、本人確認ができるもの）を役場へ提出する（2 カ月以内）。
（※申請は毎年度必要）
③交付決定後、役場登録口座に補助金が振り込まれる。

利用支援について

【スマホ利用教室開催！】
「何度でも聞いてよし！」、「繰り返し聞いても怒られない！」、「初めて使用される方も！」「既にスマートフォンを使用されている方も！」、少しでも困っていることがあれば積極的にご利用ください！

【レベルアップにつながる教室も！】
ワンランク上の使いこなしに向けた教室もあります！スマホ教室は各種グループ活動、集落に出向いて教室を開催することも可能です。積極的にお声がけください。

【スマホ取得や利用方法、スマホ教室についての問い合わせ】
江府町役場総務課　電話：０８５９－７５－２２１１

役場で スマホ確定申告しませんか？

デジタル社会の進展に伴い、確定申告も電子申告化が進んでいます。江府町では本年度、米子税務署から職員にお越しいただき、スマホ申告の研修を行います。

研修ですが、その場で確定申告を完了させることができます。ぜひお越しください！

【研修内容】

米子税務署の職員の方を講師にむかえ、マイナンバーカード方式によるスマホ申告を実際に自分のスマホを使って教えていただきながら、確定申告を行います。

【実施日・実施場所】

令和４年２月２日（水）　午前２時３０分～午後４時

江府町役場本庁舎２階多目的室

【参加定員】

定員２０名（※電話による先着順申込）

【申込締切】

令和４年１月２８日（金）午後５時まで

（※江府町役場住民課：電話０８５９－７５－３２２３までお電話ください。）

≪必ずご確認ください≫　スマホ申告に必要なものです！

・マイナンバーカード（通知カードは除く）
・マイナンバーカードを読み取れるスマートフォン
・マイナンバーカードの暗証番号（下記の３種類参照）
・白色申告の方は、収支内訳書
・青色申告の方は、税務署に提出する決算書
（スマホ申告では青色申告控除額は５５万円です）
・源泉徴収票等の申告書の作成に必要な書類
・e-Tax の利用者識別番号及びその暗証番号
（江府町の申告会場で過年に申告した方で、自分で暗証番号を決めた方以外は把握しています。）

マイナンバーカードの暗証番号は、役場も把握しておりませんので、必ず当日までにご確認ください。住民課で再設定が可能ですが、当日の再設定では研修時間内には使用できませんので、ご注意ください。

赤字囲み部分が、必要なマイナンバーカードの暗証番号です。

①署名用電子証明書 暗証番号	
②利用者証明電子証明書 暗証番号	
③住民基本台帳用 暗証番号	
④券面事項入力補助用 暗証番号	

【スマホ確定申告についての問い合わせ】
江府町役場住民課　電話：０８５９－７５－３２２３

確定申告（住民税申告）が始まります

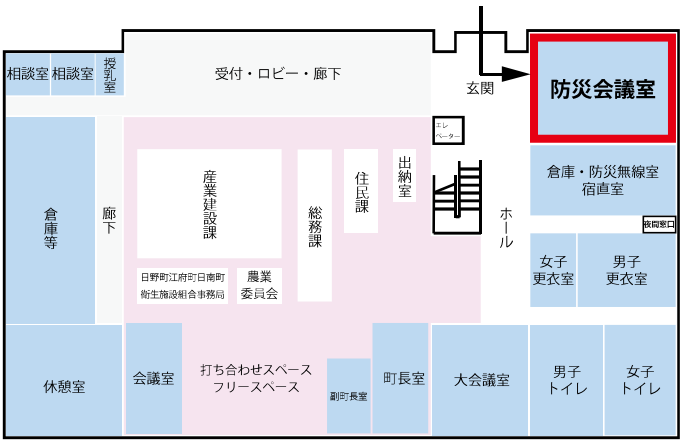
町の申告相談は２月１６日（水）から３月１５日（火）まで

日程表のとおり、申告相談を行います。必要なものをご準備のうえ、お出かけください。

申告された内容は、新年度の住民税（町県民税）の課税資料となり、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料などの算出の基礎となります。

（※業務の見直しに伴い、**町からの個別の申告案内はがきは送付しませんのであらかじめご了承ください。**）

【申告会場】
江府町役場本庁舎１階防災会議室



申告が必要な方

- 事業所得（農業・商工業など）がある方
- 不動産所得（家賃・地代）がある方
- 給与を２か所以上からもらっている方
- 生命保険や損害保険の一時金を受け取られた方
  （確定申告をする必要がある場合があります）
- 医療費控除・障害者控除・寄付金控除など、各種控除を受けられる方

※不動産や株式の売却、雑損控除など、専門的な知識が必要な申告内容の場合、町の会場では十分な対応ができないため、米子税務署が開設している【米子申告会場】（米子コンベンションセンター）の税理士相談コーナーをご利用ください。

申告に必要なもの

●マイナンバーカード（もしくは運転免許証や健康保険証などの本人確認書類）
（※マイナンバーカード・通知カードを紛失された方は、江府町役場住民課にご相談ください。）

●印鑑（認印可）
●給与・公的年金などの源泉徴収票
●農林業・商工業・不動産業などの帳簿類など
●医療費の領収書（人ごと・医療機関ごとに金額を集計したもの）
●保険会社が発行した生命保険料・地震保険料などの控除証明書
●障害者手帳など（障害者控除の適用を受けられる場合）
●寄附金の領収書・証明書
●＜還付申告をされる方＞還付金振込先の口座（本人名義）の通帳・カードなど

マイナンバーＰＲキャラクター
マイナちゃん

【ご注意①】　確定申告には、マイナンバーの記載が必要です。

申告書にはマイナンバー（個人番号）を記載する欄が設けられており、申告者ご本人や控除対象配偶者、扶養親族および事業従事者などのマイナンバーの記載が必要です。

【ご注意②】　医療費控除を受けられる方へ

例年、会場受付での順番待ち時間が長くなっています。お待ちいただく時間をできる限り短縮するため、医療費は**あらかじめ受診者ごと・医療機関ごとに集計**をしてからご来場いただくよう、ご協力をお願いします。

税申告相談日程

会場：江府町役場本庁舎１階防災会議室

期日		曜日	午　　前		午　　後	
2月	16	水	新道	8:40 ～ 11:00	大満・一旦	13:10 ～ 16:00
	17	木	荒田・高谷・半の上・宮の前	〃	荒田・高谷・半の上・宮の前	〃
	18	金	尾之上原	〃	日の詰・深山口	〃
	21	月	池の内	〃	池の内	〃
	22	火	本一	〃	本一・本四	〃
	24	木	洲河崎	〃	洲河崎	〃
	25	金	宮市・宮市原	〃	下蚊屋	〃
	28	月	柿原	〃	久連・美女石	〃
3月	1	火	佐川	8:40 ～ 11:00	佐川	13:10 ～ 16:00
	2	水	本五	〃	本五・新二	〃
	3	木	大河原	〃	吉原・西成・袋原	〃
	4	金	貝田	〃	貝田・助澤	〃
	7	月	杉谷	〃	美用・小原	〃
	8	火	新一	〃	小江尾	〃
	9	水	御机・笠良原・栗尾	〃	下安井	〃
	10	木	本二・本三	〃	武庫・武庫第２団地	〃
	11	金	農　業　青　色　申　告（終日）			
	14	月	農　業　青　色　申　告（終日）			
	15	火	予　備　日（午前の部で終了）			

※会場の混雑状況により早めに受付を終了する場合があります。

税務署が開設する米子申告会場のご案内

場　　所：米子コンベンションセンター２階　国際会議室

期　　間：令和４年２月１６日（水）～令和４年３月１５日（火）（土・日・祝は除く）

受付時間：午前９時から午後４時

・混雑状況により午後４時以前に受付を終了する場合があります。

※確定申告会場の混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は当日券もしくは、LINE でオンライン事前発行が可能です。なお、入場整理券の配布状況に応じて後日の来場をお願いすることもあります。

【お問い合わせ】米子税務署　電話：０８５９－３２－４１２１

感染リスク軽減のための税務署からのお願い

【e-Tax（電子申告）のご利用】

・申告会場での待ち時間や感染リスクを気にすることなく、自宅でスマートフォン・パソコンを利用して申告や納税などの手続をすることができます。

・一部の添付書類（源泉徴収票や医療費領収書など）は、内容を入力して送信することにより、提出が不要となります。

・申告書を書面で提出した場合よりも、還付金を早く受け取ることができます。

・作成手順については YouTube でチェックできます。

詳しくは、e-Tax のホームページ（https://www.e-tax.nta.go.jp）をご覧いただくか、確定申告 を検索してください。

池の内常盤会が全国老人クラブ連合会長表彰を受賞

▲受賞された池の内常盤会のみなさん

令和３年度の全国老人クラブ優良団体として、「池の内常盤会」（木山洋志会長、会員37名）が会長表彰を受賞されました。

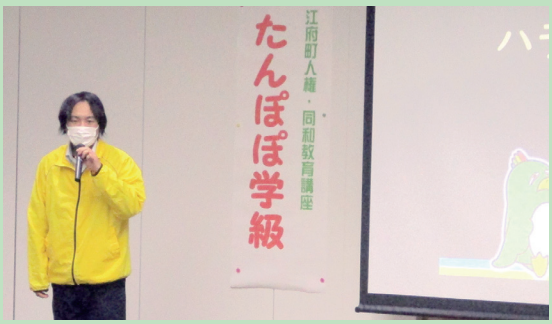
池の内常盤会は、県下第1号の老人クラブとして昭和３８年に結成、豊かで楽しい老後をめざして、地域防災や健康づくり、神社の清掃やあじさい公園管理などの活動を積極的に展開されてきました。このたびその功績が認められ、受賞の栄に輝かれたものです。

外出の機会が減少したコロナ禍においても、感染予防につとめながら会員同士の交流を継続しているみなさん、今後もクラブ活動を通じ、お元気で楽しい日々をお過ごしください。

ハラスメントについて学ぶ

12/2

第３回人権・同和教育講座「たんぽぽ学級」を１２月２日（木）、江府町役場本庁舎で開催しました。講師に鳥取県人権文化センター専任研究員岡研司さんを迎えて「ハラスメントと人権」と題して講演をいただきました。ハラスメントといっても数多くあり、今回は、モラルハラスメント（倫理に反する言葉や態度で、人の心を傷つける精神的な暴力）を中心にお話いただき、「ハラスメントは被害者に原因があるわけではない」ことを何度も伝えられました。



▲岡さんによる講演の様子

12/20 外国人への偏見や思い込みについて考える

▲DVD視聴の様子

第４回人権・同和教育講座「たんぽぽ学級」を１２月２０日（月）、江府町役場本庁舎で開催しました。ＤＶＤ「サラーマット～あなたの言葉で～」を視聴し、意見交換を行いました。ＤＶＤの中で主人公は、一緒に働くことになった外国人に最初は偏見や不安といった感情がありましたが、交流を深めることで偏見や思い込みが間違いであることに気づきました。どの人権にもいえることですが、「知らないから排除するのではなく、相手のことを知ろうとすることが大切である」ことを考える機会となりました。

特定（産業別）最低賃金が改正されました

鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金

令和３年１２月１７日から時間額**８２５**円に改正

（「鳥取県最低賃金」は令和３年１０月１６日から時間額８２１円に改正）

【問い合わせ】鳥取労働局労働基準部賃金室（電話：０８５７－２９－１７０５）

最寄りの労働基準監督署

気をつけよう 消費者トラブル

成年年齢が 18 歳になります
～若者を狙った悪質商法に注意！～

今年４月から、成年年齢が２０歳から１８歳に引き下げられます。未成年者が親の同意を得ずに契約をした場合には取り消しができますが、１８歳になってから結んだ契約は、原則取り消すことができなくなります。

- SNS上の儲け話や副業サイト、友人から誘われたマルチ商法、通信販売のトラブルなど、若者からの相談が多数寄せられています。
- 社会経験の少ない18～19歳の若者を狙った消費者トラブルの増加が予想されます。
- 一度結んだ契約は、一方的に取り消すことはできません。
- うまい話は信用せず、きっぱり断りましょう
- 困ったときは、一人で悩まず、ご相談ください。

【消費者ホットライン】**局番なしのいやや 188**
お近くの相談窓口につながります。

○消費生活相談員による相談窓口
令和4年1月26日(水)、2月16日（水）午前9時～午後4時
江府町役場本庁舎1階相談室にて開催
※日野郡3町は、毎週水曜日に輪番で相談員が対応しています。他役場の相談室もご利用ください。

○通常の相談窓口
平日：江府町役場住民課（電話：0859-75-3223）
土日：鳥取県消費生活センター（電話：0859-34-2648）※祝日、年末年始除く

獣害対策アップデート

第７回 冬のごちそう？

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野　風花
【問い合わせ】0859-72-1399

ついに冬本番、電気柵の回収は済みましたでしょうか？

電気柵の回収と言えば、「電気柵を外した途端、田んぼにイノシシが入ってくるようになった。食べるものもないのにどうして？」といった相談が寄せられることがあります。

実は、お米の刈取り後にも田んぼには、食べるものがあるのです…その名も「二番穂」。名前の通り、稲の切り株から新たに生える稲穂のことです。最近の二番穂は、一番穂の刈取り後も暖かい日が続くことから、実もしっかり詰まって、頭を垂らす勢いです。滋賀県では、10ａの二番穂で47ｋｇの米が収穫出来た例もあります。

ご存じの通り、イノシシは乳熟期（出穂した実を指で押すと白い汁が出る時期）の稲穂をねぶって食べます。ですので、二番穂も乳熟してくると喜んで食べにやってきます。

冬に向かって食べ物が少なくなってくる時期に二番穂は最高の栄養源になるのです。

この時期に栄養を蓄えられた場合、体力の少ない子供たちも無事越冬することができます。二番穂は、動物たちにとって、ありがた～いエサになってしまうのです…。

二番穂の処理には、トラクターですき込んでしまうか、小規模の場合は、二番穂が生える前に草刈り機で刈取ってしまう、などの方法があります。

農地を守るためにも、刈取った後、二番穂が生える前に処理する「餌付けしない」対策も大切です！

今年の二番穂です
しっかりと
お米ですね…

12/23 地域おこし協力隊活動報告会を開催しました

▲報告会の様子

「地域おこし協力隊活動報告会」を１２月２３日（木）、江府町役場本庁舎で行いました。今回活動報告を行ったのは、任期２年目の西嶋俊明隊員と阿部将樹隊員。西嶋隊員は農事組合法人宮市の中で、カモミールの栽培や加工などを行ってきた活動について報告し、実際に商品化した「奥大山高原カモミールティー」などを紹介しました。阿部隊員は日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師としての活動について、縁側を通して感じた生徒の成長などについて報告を行いました。

「町報こうふ」が今月号からフルカラーになりました！！

町では「町報こうふ」をフルカラー化するため、ふるさと納税サイト「ふるなび」で、ふるさと納税型クラウドファンディングを行ったところ、総額６３０万円のご寄付をいただきました。みなさまからたくさんの温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

そして寄附金を基に、ついに今月号からフルカラーとなりました。「町報こうふ」は、これからもより魅力的な広報誌となるように努めていきますので、よろしくお願いいたします。

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、**山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行**ですので、お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がありましたら、役場住民課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限　1月分　令和4年2月28日(月)まで

令和３年度の国民年金保険料

令和３年4月から令和４年3月までの国民年金保険料は、月額16,610円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により、金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限（翌月末）までに納めましょう！

【問い合わせ】江府町役場住民課　電話：０８５９－７５－３２２３
米子年金事務所　電話：０８５９－３４－６１１１

今月の税金

- 後期高齢者医療保険料（7期）
- 国民健康保険税（8期）・介護保険料（8期）

納付期限および口座振替は令和4年1月31日(月)です。

人の動き

12月末までの届け（敬称略）

◎ご結婚を祝します

梅田　祐太　）下蚊屋
種田　梨奈　南部町

◎お誕生おめでとう

（住所）	（氏名）	（性別）	（保護者）
武庫第二	古海（ふるみ）　花純（かすみ）	女	修祐

◎ごめい福を祈ります

（住所）	（氏名）	（年齢）	（世帯主）
日の詰	坂口　理郎	85歳	千秋
佐川	住田　玉子	92歳	玄次
新町一	小笠原　定義	101歳	春惠

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

12月末までの届け（敬称略）

◎香典返しとして

小江尾　宇田川　哲也　母　千鶴枝死去
本町五　川上　和人　父　實死去
本町二　手島　征夫　妻　陽子死去
佐川　住田　玄次　母　玉子死去
新町一　小笠原　春惠　夫　定義死去

■まちの人口	2,675	人	(-20)
男	1,251	人	(- 8)
女	1,424	人	(-12)
■世帯数	1,010	世帯	(- 5)

令和3年12月31日現在（　　）は前月比

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

令和3年12月31日現在

延申込件数　15,035件
（前月比＋6,515件）

延寄付金額　396,674,479円
（前月比＋223,932,479円）

1月

防＝防災情報センター 福＝総合健康福祉センター 役＝江府町役場本庁舎 本5＝本町5丁目集会所 せ＝せせらぎ公園
創＝高齢者創作館

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
17 カラオケ同好会 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 絵手紙・墨彩画教室 防 午後1時30分～3時30分 大河原線	18 囲碁同好会 防 午前10時～午後4時 下蚊屋線	19 ピアノ教室 防 午後4時30分～6時 書道教室 本5 (広域隣保活動) 午後4時～5時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 御机線	20 明徳学園開校日 折り紙教室 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 陶芸教室 創 午後1時～4時 書道教室 防 午後1時30分～3時 和紙折紙講座 役 午後1時30分～3時30分 ピアノ教室 役 午後4時～5時30分 俣野線	21 お茶会2 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 フラダンス講座 防 午後2時～3時30分 ピアノ教室 防 午後4時～6時 柿原線 下安井線	22 和紙折紙講座 役 午後1時30分～3時30分 講演会「県立図書館館長と語る会」 防 午後2時～4時 講師：県立図書館館長 小林さん 問江府町立図書館 電話：0859-75-2005	23 ピアノ教室 役 午前9時～午後1時 まなびや 防 午前9時～午後1時 江府町立図書館 防 ものづくりクラブ 午前10時30分～ （参加要予約） 問江府町立図書館 電話：0859-75-2005
24 油絵教室 防 午後1時30分～3時30分 大河原線	25 パッチワーク同好会 防 午前9時～11時30分 アイリス合唱団 防 午後7時～8時30分 下蚊屋線	26 ピアノ教室 防 午後4時30分～6時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 手踊りクラブ 役 午後7時～9時 御机線	27 図書館休館日 元気クラブ 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 ピアノ教室 防 午後4時～5時30分 俣野線	28 ピアノ教室 防 午後4時～6時 柿原線 下安井線	29	30 ピアノ教室 役 午前9時～午後1時
31 大河原線						

江府町・西ノ島町児童交歓スキー教室
日時：１月１８日（火）～２０日（木）
１８日：江府小学校　１９日：鏡ヶ成スキー場
２０日：江府町防災・情報センター（見送り）
【問い合わせ】江府町教育委員会　電話：0859-75-2223

家庭の日　絵画・ポスター巡回展
日時：１月２４日（月）～３１日（月）
開催場所：江府町役場本庁舎２階
【問い合わせ】江府町教育委員会　電話：0859-75-2223

2月

防＝防災情報センター 福＝総合健康福祉センター 役＝江府町役場本庁舎 本5＝本町5丁目集会所 せ＝せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
	1 囲碁同好会 防 午前10時～午後4時 ピアノ教室 防 午後4時30分～5時 下蚊屋線	2 ピアノ教室 防 午後3時30分～6時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 御机線	3 ピアノ教室 役 午後4時～5時30分 俣野線	4 フラダンス講座 防 午後2時～3時30分 お茶会 本5 （広域隣保活動） 午後2時～4時 ピアノ教室 防 午後4時～6時 人権・同和教育講座 役 たんぽぽ学級　第5回 午後7時～8時 ※詳細は、配布しているチラシをご覧ください。 柿原線 下安井線	5 ピアノ教室 役 午前9時～11時30分	6 ピアノ教室 役 午前9時～午後1時 江府町立図書館 防 おはなし会 午前10時30分～ （参加要予約） 問江府町立図書館 電話：0859-75-2005
7 囲碁同好会 本5 （広域隣保活動） 午後1時～5時 大河原線	8 パッチワーク同好会 防 午前9時～11時30分 ピアノ教室 防 午後4時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～8時30分 下蚊屋線	9 ピアノ教室 防 午後3時30分～6時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 手踊りクラブ 役 午後7時～9時 御机線	10 人権・行政相談 午前9時～正午 江府町防災・情報センター 電話：75-3110（開設時のみ） 料理教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 ピアノ教室 役 午後4時～5時30分 俣野線	11 ピアノ教室 役 午前9時～11時30分 いけばな教室 防 午後7時～8時	12	13 ピアノ教室 役 午前9時～午後1時

１月 17 日から２月 13 日の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来のイベント等が中止や延期になる場合があります。詳しくは町のホームページをご覧いただくか、イベント等の主催者へお問い合わせください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

町報こうふ

「町報こうふ」は2019年4月号から紙面内容充実のため、穴開けを廃止しました。お手数ですが綴る際は、裏表紙の「○」および「▼」マークを目印にパンチ等で穴を開けていただきますようお願いします。

発行／江府町役場　〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾1717番地1　TEL (0859) 75-2211　FAX (0859) 75-2389　URL：https://www.town-kofu.jp

編集／総務課　印刷／冨士印刷(有)

町報こうふの最新号やバックナンバーは江府町ホームページで！

江府町

12/10

メリークリスマス！！

今年も「こうふのサンタ」から、子供の国保育園へプレゼント♪

令和３年１２月１０日（金）…。早番の職員が出勤すると、園舎前に、２通の手紙が置いてあるのを発見！！１通目には「メリークリスマス　たのしいクリスマスを　おそくなってごめんなさい　こうふのサンタ」、２通目には「プレゼントはさくらの木に吊り下げてあります」と書かれていました。そして、職員が桜の木を確認すると、袋に入ったイルミネーション一式が吊るされてありました。

梅林園長は「今年もこうふのサンタさん、ありがとうございました。大切に使わせていただきます」と感謝を述べました。

▲「こうふのサンタ」さん、ありがとうございました！！
（写真は子供の国保育園年長児）

スポ少のご紹介

江府町スポーツ少年団 ドッジボールチーム

Kofu Rising Sun

江府ライジングサン

令和３年４月に設立した、江府町スポーツ少年団ドッジボールチーム「江府ライジングサン」。林弘一監督のもと、町内の小学生を対象に結成され、県内大会出場に向けて練習しています。一緒にドッジボールで汗を流しませんか。

【練習日】毎週金曜日午後７時から９時まで
【練習会場】江府小学校体育館
ご興味ある方は、以下までご連絡をお願いします。
【江府町スポーツ少年団に関する問い合わせ】
江府町教育委員会事務局　電話：0859-75-2223

奥大山の水江府町地域振興（株）は「江府ライジングサン」に協賛しています。

▲ドッジボールを通して体も心も鍛えます。

今月の #kofupics

【タイトル】
「青天を衝け」
【投稿者】
songchun19 さん
【撮影場所】
江府町御机地内

＼投稿写真募集中／
このコーナーでは、インスタグラムにハッシュタグ「#kofupics」をつけて投稿された写真を紹介しています。
みなさまからの、とびっきりな「#kofupics」な写真をお待ちしています！！

今月号でご紹介する写真は、江府町御机地内で撮影された一枚。雪をまとった圧巻の大山南壁を収めた作品です。投稿者の songchun19 さんからは以下のコメントをいただきました。「真っ白な雪が降り積もった急峻な岩肌が、雲のない真っ青な空を貫くように天高くそびえる景色は壮大でした。これからも、季節によって様々な顔を見せてくれる、魅力的な大山を撮影していきたいです。」

COVER －表紙の写真－

新たな年を迎え、「町報こうふ」は今月号からフルカラーになりました。今年初の「町報こうふ」の表紙を飾ったのは、江府町観光大使の「えびちゃん」。寅年にちなんだ、あでやかな金色の着物がよく映えます。「えびちゃん」は昨年に Vtuber としての活動を開始しました。今後、新たな動画出演も予定しているそうです。

江府町観光大使として、今年もますますの活躍に期待しています。